



1年学年だより

発行日:令和6年2月29日(木)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO.10

令和5年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校13期生適性検査、南高校71期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和5年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和5年度も残りひと月、よろしくお願いたします。

自分の心の声に耳を澄まそう

3年学年主任 朝比奈 康江

♪ 何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのはいやだ

何が君のしあわせ 何をして喜ぶ わからないままおわる そんなのはいやだ ♪

みなさんも一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。やなせたかしさん作詞の「アンパンマンのマーチ」の一節です。大げさかも知れませんが、生きる目的がはっきりしていれば、たとえ八方ふさがりに思える状況の中でも、「はい」と「いいえ」を言い違えることはありません。

卒業生たちから、中学生や高校生のときの興味が将来の仕事の選択につながっているという話をよく聞きます。今はまだ将来のことはわからないという人も、何がしたいのか意識して、自分の気持ちに注意深く向き合い、心の声に耳を澄ますことで、気づくことがきっとあると思います。

自立した人に。

2年学年主任 三井 俊文

「自立」。みなさんが考えるこの「自立」という言葉は、どのような意味の言葉でしょうか。辞書で引くと、「他の力をかりることなく、また他に従属することなしに存続すること。」と書いてありました。私もそう思っていましたし、みなさんも大体似たような意味で捉えているかなと思います。以前、ある記事でこんな発言を読みました。「自立とは、依存先を増やしていくことです。」頼れるものを減らして自分の力だけ立っていくことが「自立」と思われがちだが、むしろ反対に頼れるもの(場所、人など)を増やしていくことが「自立」ということです。私自身、この言葉にとっても感銘を受けましたし、その通りだなと思いました。頼ることなく、支えてもらうことなく生きるのではなく、頼ったり支えてもらったりして生きることこそが「自立」なのです。そしてそれは支えてもらう側だけでなく、支える側になることも意味するものだと思います。2年間に共に過ごしてきて、11期のみなさんは周りを支えられる人たちがすごく多いと感じます。これからもお互いに依存し合える関係をたくさん増やしていき、「自立」に向かっていってほしいなと思います。

人生は選択の連続

1年学年主任 酒井 貴史

人生は選択の連続…こんな言葉を聞いたことがあるでしょうか。「よし、決めるぞ」と思って選択することもあれば、気にも留めずに選択することもあります。何の選択をしたか、忘れてしまうような選択もあることでしょうか。ところで、みなさんは1年前の今頃、どんな選択をしたでしょうか。…この学校へ入学することを「選択」したはずで。

そんなみなさんの中学生としての3年間のうち、1年が過ぎそうとしています。「〇〇するんだよ」と言われて選択してきたことから、少しずつ自分で「〇〇するぞ」と思って選択することも増えてきたのではないのでしょうか。選択一つが未来を変える、という大げさかも知れませんが、その場その時に考えられる最善の選択を「自分で」できる人になっていって欲しいです。きっと、そんな選択がみなさんを成長させ、お互いに良い影響を与え合ってくれる集団になってくれることでしょう。期待しています。

グループエンカウンター研修Ⅱ

2月22日(木)の5,6,7時間目に、鹿嶋先生をお招きして2度目の構成的グループエンカウンター研修を行いました。前は5月。みなさんが中学生になったばかりの時でした。それから早9カ月。鹿嶋先生からの第一声は「みんな大きくなったね〜!」。そして「元気だね〜!」。学年の良さを残しながら12期生が成長している様子を喜んでくださいました。

みなさんの振り返りの中に、「リフレーミングが楽しかった」という感想が多くありました。短所を長所に変えていくリフレーミングですが、「みんなのことを知った上で行うリフレーミング」にも価値を見出している人もたくさんいました。

昨年5月の研修では、「知り合っていくコツ」を学びました。4月からは新しいクラス。新しい出会いとともに、新たな自分にも気づくこともあるでしょう。すべてが学び、すべてが成長。後輩を迎える立場として、ぜひ活かしていきましょう。



～講座を受けた感想～

1組 ■■■■■ 自分が欠点だと思っていた性格が、実はそこまで気にしなくてもよかったり、欠点には相手には見えなかったりして、意外でした。他のクラスのあまり接点がない人も関わることができました。思っていたよりも明るくて元気な人なんだと新しいイメージが増えた人もいて話していて楽しかったです。

2組 ■■■■■ 話したことのない人のコミュニケーションをとることは緊張するけど、話してみると自分が心配していたよりも楽しいということに改めて気づくことが出来た。また、自分が短所だと思っている性格も、考え方を変わると長所としてとらえることができるということを学べたから、ポジティブに考えることができるようになった。すべての活動が楽しかった。

3組 ■■■■■ 私のグループは、同じクラスの人がいませんでした。しかし、今回の活動を通して、それぞれの価値観や考え方を知ることができ、新しい仲間も作る事ができました。自分の短所をポジティブ思考に帰るリフレーミングの活動では、「そういう見方もできる」という新たな発見もあり、「人と関わる」ことに対して関心をもつことができた。

4組 ■■■■■ 自分の悪いところを、班の人に見てもらった活動が印象に残っている。もちろんそういう活動なので、プラスな言葉をもらえるってわかってはいたけれど、うれしかった。プラスな言葉のパワーを感じたので、今後はプラスな発言を増やし、雰囲気を良くして過ごせるようにしたい。

風のように過ぎた2月の学びの足跡。

この2月は適性検査や高校入試、そして期末テスト…。授業らしい授業が少なかったように感じます。テスト、となると、どうしても、どうしても、どうしたら良い点をとれるか、という部分に考えがいきがちです。もちろんそれはとても大事なピースです。しかし、もっと大事にして欲しいのは、「探求心」です。

「なんで?」「どうして?」「自分ならこう思う。」「人の考えを聞いて・知って視野が広がった。」「教え合ってもっと良くなった!」日々そんな想いをして欲しいと願い、授業をしています。今号では、時間の少ない中での各授業を紹介します。

【国語】～僕とエーミールのどちらを擁護するか?～



『少年の日の思い出』を読み込みました。舞台である国や時代は違えど、12歳の少年たちの葛藤を、自分たちに引き寄せて読み深められるように、「僕とエーミールのどちらを擁護するか」という全体討論を行いました。「弁護ではなくて擁護」という言葉の確認に始まり、様々な描写を根拠にして意見を交わしました。立場の異なる人の発言に、はっと息をのむ瞬間が幾度となく訪れ、一人ひとりの考えが深まっていく手ごたえを実感しあいました。「優しさと正しさってどちらが大切?」と、まだまだ交流は深まっていく余地を残しつつ幕を閉じました。

【社会】～マルコはどこにいるのか～

1月から地理的分野で世界の諸地域の学習をしています。南アメリカ州の学習ではアニメ「母をたずねて三千里」のオープニングを見て、「マルコはどこにいるのか」の謎を解いています。若き日の宮崎駿さん、高畑勲さんの名前が出てきて「あ!」と声が上がりました。歌詞や映像をヒントに場所を特定して、みんなで謎解きに取り組みました。発表の時は、地図帳の資料を根拠に説明してくれました。



【数学】～4つのお弁当から2つを選んで買いたい～

1次方程式・連立方程式と、基本の方程式を学んだまとめとして「4種類のお弁当から2つを選んで買う」という題材で「解の吟味をすること」の必要性を学びました。これまでは解が1つに定まることばかりで、その必要性を感じない場面しかありませんでしたが、複数の解が求まることから考えを深めることができました。答えが1つにまとまることの良さが数学の面白さ、として挙げられることも多いですが、複数ある答えの中から状況を整理・判断して最適解を出せるようになることも大切にして欲しいと考えています。



【理科】～You Tuber になろう～

地学の分野の学習をしました。1年生の地学の分野は、地質や地震、火山などについての学習です。どうしても説明することが多くなってしまいがちな分野なので、教師の側から説明するのではなく、自分たちでお互いに学習内容を説明する動画を作成するという授業を展開しました。はじめに学習指導要領を読んで、説明をするべき内容を把握し、次に教科書の中身から実験や観察の方法、指導方法を考えました。各グループがChromeBookを駆使して、アニメーションをつくりたり、実際に黒板の前で授業をしたりしながら、面白くも内容がある動画を完成させていました。





【英語】～Round 5 リテリング～

5Round 型学習の最終ラウンドで、教科書のストーリーを、自分の言葉で紹介する「リテリング」の活動を行っています。慣れ親しんできた物語や、登場人物たちの気持ち、それらについての自分の考えなども加え、授業で使ったさまざまな英語表現を活用して伝え合う活動です。1年間の学習のまとめとしてMy Here We Go!冊子にもまとめました。

【保健体育】～ダンスとソフトボール～

ダンスは「EX ダンス体操」と「ソーラン節」を踊っています!EX ダンス体操はダウンのリズムやサイドステップ、Choo Choo トレインをバッチリ覚えて、元気に体操しています。ソーラン節はどうしたらカッコよく見えるか、見ている人に伝わる演技になるか、班ごとに話し合いながら発表に向けて練習を重ねています!

ソフトボールでは、得意な人が苦手な人にルールやコツを教えながら互いに学び合い、チームで声を掛けあってゲームを楽しんでいます!



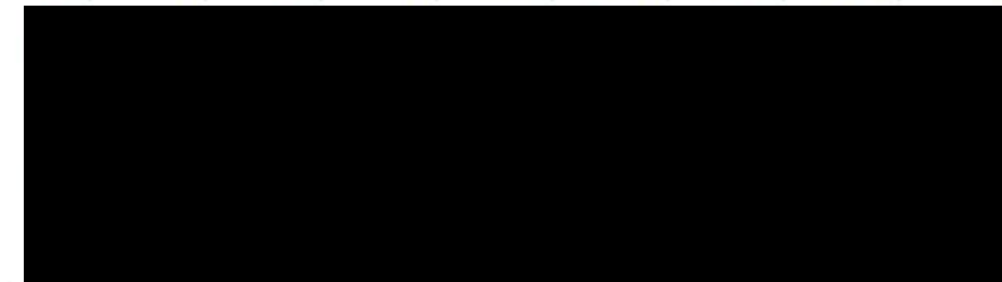
百人一首大会結果

前月号で様子をお知らせした百人一首大会ですが、結果をお知らせします。

1学年 百人一首大会<個人賞>

※敬称略

8位	8位	8位	7位	6位	5位	4位	3位	2位	1位
57枚	57枚	57枚	58枚	59枚	62枚	67枚	70枚	75枚	83枚



22位	22位	22位	21位	19位	19位	15位	15位	15位	15位	14位	13位	12位	11位
41枚	41枚	41枚	42枚	45枚	45枚	47枚	47枚	47枚	47枚	49枚	52枚	53枚	54枚

